



OB 会だより

国臨協 OB 会関東信越支部

2022年9月1日

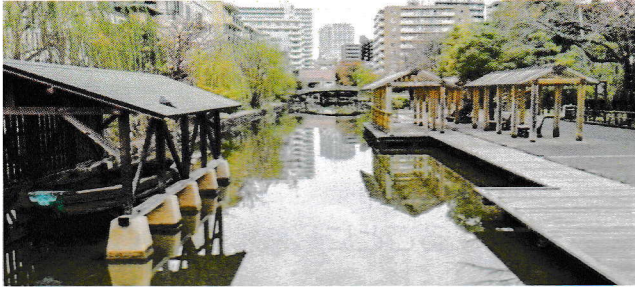
発行責任者：木下忠雄

編集責任者：土井誠一

国臨協 OB 会事務局

江東区木場 6-13-5-707

TEL：090-3437-4525



【総会議案の書面表決結果について】

会員数 106 名の内、58 名から返信がありました。各議案の承認数は下記の通りです。

第 1 号議案	58
第 2 号議案	58
第 3 号議案	58
第 4 号議案	58
第 6 号議案	58
第 6 号議案	58

令和 4 年度 国臨協本部役員（一部）

役員名	氏 名	施 設 名
会 長	前澤 直樹	がん中央
副会長	平原 博美	東長野病院
副会長	山田 晶	東京医療
事務局長	後藤 美樹	成育医療

令和 4 年度 国臨協関信支部役員（一部）

役員名	氏 名	施 設 名
支 部 長	吉田 茂久	横浜医療
副支部長	椎名 将昭	水戸医療
副支部長	齋藤 広樹	東長野病院
事務局長	梅戸 克之	信州上田医療

《OB会会長よりお願い》

①平成 22 年度の事業方針のなかでも述べましたが、今年度より「OB 会だより」の外部委託により頁数が基本 4 頁とし、定型封筒にて会員の皆様にお届け致します。

②創立 50 周年事業に向け繰越金の一部を積立金として準備させて頂きます。

上記二点よろしくお願いいたします。

・今年度の国臨協関信支部創立 50 周年記念学会抄録に祝辞依頼があり、OB 会を代表し掲載いたしました。また、OB の学会発表も初めて演者依頼があり、小原千秋氏（元支部長・元 OB 会会長）をお願いいたしました。

会長 木下忠雄

OB会だより原稿の募集

近況報告、身近な出来事や情報、自作のイラスト・写真・エッセイ・川柳・旅行記・趣味・ご当地の料理や観光紹介など形式は特に問いませんので、お気軽にお寄せ下さい。原稿は、ワード(docx 形式)、12 ポイント、字体はお任せ、A4 で 2～3 枚程度で作成しメールにて送付して下さい。

＜送付先＞

〒135-0042

東京都江東区木場 6-13-5-707

関信支部 OB 会事務局

TEL：090-3437-4525

Mail：seiichi.0322.dream52@ezweb.ne.jp

バラに魅せられて！

元・東京医療センター 小松 和典

定年後、どこに出かけるでもなく、家にいることが多くなったことで家人たちのストレスはMAXになっているといいますが、これを主人在宅ストレス症候群と呼ぶらしいです。最近では、在宅リモートなどと言われて、自宅で仕事をするところがあるそうですから尚更です。そもそも私などは、ずっと以前から家人にリモートされてきましたから、今更という感じもします。

さて、OB会の皆さまはつつがなくお過ごしでしょうか。今回、会報への寄稿依頼をいただきましたが、諸先輩の方々のように際立った趣味がないために、なかなか腰が上がりなかつたのですが、ふと以前から失敗を繰り返してきたバラ栽培のことをしたためてみようと思いつきました。

きっかけは、仕事に就いて少し経った30代の頃だったと思いますが、バラの花を眺めているだけで不思議と元気になれる気がしたことがありました。以来、春先に鉢バ



ラを買っては楽しむのですが、忙しさにかまけて手が回らなくなり、夏の暑さで枯らしてしまう、ということを懲りもせず毎年のように繰り返して、家人に呆れられていました。近くには京成バラ園という専門施設がありまので、今年こそと思い、比較的暑さに強い品種の赤いバラを譲っていただきました。今では時間だけはたっぷりありますから、毎朝夕に眺めては大切に観察できますので、以前のようなことにはならないと自信を持って世話をしています。

そこで、初心者目線でバラのお話を少しさせていただこうと思います。

「薔薇」と書いて“バラ”

読める人はたくさんいてもこの字を書くのはなかなか難しいのではないのでしょうか。どんな意味があって、こんなに難しい字が当てられているのでしょうか。

実は「薔」は中国では垣根の意味。そして「薇」は風にそよぐことを意味しているそう。垣根に咲いていて、風にそよぐ植物、それが「薔薇」です。実際には蔓バラのことを指しているようです。ここでは、「薔薇」をバラと表記することにします。

【バラ栽培の基本】

本来バラは、一度植えれば何十年も楽しむことができる植物ですが、生育環境について「どこで育てるかが重要」と言われます。また、6～7月にかけては病害虫が発生しやすいこと、水やりに至っては、新芽が伸び始めた頃（2cm程度）の水切れがブラインド枝を招いてしまうので水切れにも注意を払う必要があるなど、気が抜けない時期も多々ありますが、次から次へと開花するバラを見るにつけ、元気をもらえるし、その時の苦勞が報われます。

美しいバラの花の育成に大切な事は、鉢は風通しがよくて、あまり強い風が当たらない所に置き、水やりは土の表面が乾いたらたっぷりと静かに根元に流し込みます。水は毎日少しずつ与えるのではなく、乾いたら鉢の底から水が流れ出るまでやります。園芸用の肥料には沢山の種類がありますが、窒素、リン、カリウムの組成がバランスよく配合（バラ用として、10：10：10の割合で配合されているものが多い）されているものを選びます。病害虫対策として殺菌剤や殺虫剤を巧く併用して対策をします。



バラは切ることで成長していく植物です。

咲き終わった花を細めに摘み取る、この咲きから切りも大切な作業で、咲き終わりに近づいた花の枝を切り、花芽が伸び次の花を咲かせる準備をします。

このように、何かと手のかかることこの上ないのがバラですが、そこがまたいいのです。

【バラの原種】



さて、バラの起源はいつ頃かという、今から 3500 万年前とも、7000 万年前ともいわれ、場所は「ヒマラヤ山脈の麓」あたりではないかというのが有力です。原種は北半球にのみ自生し現在 120 種ほどありますが、中国・ヒマラヤ山系に多いことから、そこがバラの誕生地と考えられる理由の一つです。原種ばらのほとんどはシュラブ樹形かつるばらで、春に開花する一季咲きがほとんどです。日本の原種は「野ばら」が最も有名で、房咲き性という性質を持ち、ばら生産において台木としての役割も担っています。

バラを愛した人で思い起こされるのは、ナポレオン一世の皇后ジョセフィーヌです。実は、フランスにバラが伝えられたのは正式なものではなく、十字軍が帰り道に盗んで国に持ち帰ったのがきっかけだったと伝えられているのです。そのバラを彼女は大層お気に入り、その後、莫大な財力に物を言わせて世界中からバラを収集し、広大なマルメゾン宮殿の庭園に3万本ものバラを植え、品種改良に取り組んだと言われています。

日本国内には多くのバラ園がありますが、国内最大のバラ園は岐阜県可児市の花フェスタ記念公園のバラ園で、6万1千株、7千

種を誇るそうです。次に大きいのは、かのやばら園（鹿児島県）、花鳥溪谷（青森県）と続きます。それぞれが品種改良などに取り組んでいるようですが、そんな中、2004年にバイオテクノロジーで“青いバラ”が出来ました。バラには青い色素がないことから不可能の代名詞ともされていた青いバラを、サントリーとオーストラリアの会社が開発に成功したのです。

【バラの効用】



バラは美の象徴とも言われ、原種に近いものからは精油を抽出し、芳香浴などに用いられているそうです。バラの香気成分を分析すると600種類以上もあるそ

うですが、成分バランスや量によって甘い香りや優雅な香りなど奥深い芳香が生まれます。精神面に対する鎮静作用、緩和作用、高揚作用による情緒不安定、不安、抑うつ、悲嘆、恨みなどの感情を和らげ、安定と安らぎを取り戻させてくれる働きがあるそうです。中世ヨーロッパでは「不老長寿の妙薬」「若返りの薬」として、特に肌を若々しく保つために使われたとも云われています。さらには、バラの花びらを原料として作られた薬は胃の消化薬として広く用いられましたことが知られています。

【バラのトゲは痛い！】

バラにはトゲがあり、刺すととても痛いのですが、なぜあるのかはわかっていないようです。外的からの防御説、他の植物への絡ませ説、冷却装置説などいくつかの説があるようですが、どの説もパッとした説にはなっていません。トゲは、最初、水分を含んで柔らかく、だんだん水分が抜け固くなります。そして水分が抜けて硬くなったトゲは、敵から体を守る、体を支える、莖の強度を上げるといったような役割を担っているとのことでした。

た。

【ちょっと余談】

ローズと名のつく花にクリスマスローズというものがありますが、これはバラ科の花ではなく、キンポウゲ科ということでした。この花は、クリスマスの頃にローズのような花を咲かせることから名付けられたものですが、サポニンを含んでおり、強心剤、利尿剤として用いられた歴史があります。



ローズヒップというものがありますが、これはバラ科の植物で花を鑑賞するよりも、偽果といっ

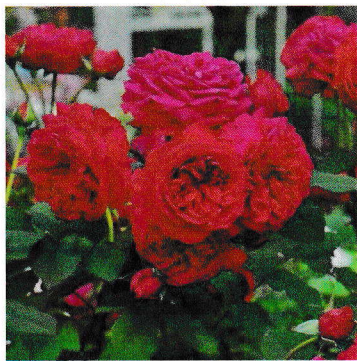
て花が終わったあとに実る果実を乾燥させ、砕いてハーブティーとして飲用するものです。ビタミンCの補給に優れているのと、ペクチンが緩下作用に働く点が重宝されているようです。

よく知られているローズマリーは、これはシソ科の植物で、和名がマンネンロウ（漢字表記は「迷迭香」と書きます）というものです。このローズマリーは葉っぱを利用して抗酸化作用を期待するものです。樟脳のような香りがします。

【最後に】

バラについて、断片的でとりとめのないお話しで紙面を無駄に使わせていただきました。まだまだバラの初心者ですので、これからも少しずつ知識の幅を広げていけたらなあと考えています。

植物を育てるには、栄養、水分、日光、環境などなど、どれが欠けても上手くいきません。かつての若手育成を思い起こし、今更ながら反省している次第です。育てるということは簡単なこ



とではありませんが、その分成長を楽しめます。そして、なんとなく自分のこともわかってくるような気がします。

編集後記

7月10日執行の参議院選挙における期日前投票の投票立会人の依頼がきました。日時は1週間前の7月3日（日）です。

投票立会人の職務は、投票に不正が生じないように監視をして、投票手続き全般について立ち会います。

午前8時30分投票所が開かれ最初の投票者が、投票箱の中身が空であることを確かめて選管職員が投票箱に鍵をかけます。投票が開始され投票済証を求めの方がありました。みなさんは、投票済証明書をご存知でしょうか、これを提示すると、一部の飲食店や専門店で商品の無料サービスや割引などの特典が受けられます。いわゆる「センキョ割り」です。この制度は公職選挙法の規定にはありません。各自治体選管の判断に委ねられております。

今日もたくさんの有権者の方が投票所を訪れ、もうすぐ午後8時、長い1日が終わります。民主主義を実現するために欠かせない選挙、選挙の意義を改めて感じられた1日でした。（K・K）

OB会だよりが返送されてくるケースがあります。住所変更、入会、退会、ご意見等がありましたら**必ず葉書にて事務局まで**ご連絡下さい。

訃報

福島利光さん

享年 86 歳

（元 国立村山病院）

がご逝去されました

謹んで ご冥福をお祈りいたします

